

令和7年第3回吉備中央町議会定例会一般質問通告まとめ

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
1	8	山崎 誠 (一問一答)	アフタースクールについて	今年度各小学校に開設されたアフタースクールは、放課後に週1回、概ね15時から16時、さまざまな体験の場を提供し、子どもの生きる力を育成するとされている。まだスタート間もない時期で、運営は手探りの部分もあると思うが、子どもたちにとって充実した場となるよう以下尋ねる。	町 長
			1. 概要について	①各校の開設日、開設時間、クラス編成。 ②各校の参加希望者数、児童数との割合。 ③参加希望者のうち実質参加児童数。 ④活動内容及び講師。 ⑤活動場所。	
			2. 目標について	体験の場であり、競技や技術のスキルアップを目指す場ではないとされている。年間計画は組まれているが、計画は到達目標を示すものでなく、カリキュラムではないと理解して良いか。	
			3. 講師陣について	①講師の予定者には、専門的なインストラクターと思われる人、ボランティアと思われる人、さまざまである。講師選定の基準はあるのか。 ②謝金や委託料、費用弁償などはどうなっているのか。 ③講師は1クラスに何人配置されているのか。	
			4. 不参加児童への対応について	①参加希望を出していない児童でスクールバス利用児童は放課後どのような動きになるのか。 ②参加希望児童で、当日の体調や気分不参加の児童はどのような対応になるのか。	
5. 問題点と懸念について	スタート間もない段階であり、定着するにしたがい順次改善される点もあると思われるが、大和子ども教室の経験から以下いくつかの懸念について対応の方策を尋ねる。 ①講師1人に対し、児童数は何人程度が適切と考えているか。 ②実質時間は45分程度である。子どもたちは物足りなく不満があるのではないか。 ③スキルアップを目指さないとすれば、講師と子どもたちの親密度が増すことで充足感が生まれる。講師はその回限りでなく、属人的に継続するよう配置されているか。 ④その日の都合で参加しない子、出来ない子のスクールバス発車までの、いわゆる待ち下校の対応は十分か。児童クラブとの間に問題は生じていないのか。 ⑤暫く実施した後に、児童、保護者への満足度アンケート調査が必要と思うがどのように考えているか。				

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
(1)	(8)	山崎 誠 (一問一答)	PFAS 汚染の積極的健康対策について	<p>諸外国では PFAS による健康被害が数多く表面化し、さまざまな対策や規制強化が進んでいる。例えば、最初の大規模被害が問題となったアメリカ・オハイオ川周辺住民は、高コレステロール血症、潰瘍性大腸がん、甲状腺疾患、精巣がん、腎臓がんなどを発症し、イタリア・ヴェネト州でも同様の被害が発生。今年 6 月には、同地で PFAS を製造していた三菱商事の子会社「ミテニ社」に派遣されていた三菱商事社員 3 人が 16 年と 11 年の拘禁刑を言い渡されている。</p> <p>既に WHO は、PFOA の発がん性評価を最高のレベル 1 に引き上げており、アメリカ疾病予報管理センター(CDC)は血中濃度 7PFAS 計 20ng/mL の指針値を示し、これを超えると免疫力低下、脂質代謝異常、胎児・子どもの発育障害、腎がんが悪影響を及ぼす十分な根拠があるとしている。</p> <p>因みにヴェネト州汚染被害住民の PFOA 血中濃度の平均は 65ng/mL、オハイオ川周辺被害住民の PFOA 平均は 83ng/mL とされている。円城地区では発覚約 1 年後に行った第一次公費血液検査 709 人の PFOA 血中濃度の平均は 135.6ng/mL と極めて高濃度で、健康への影響が深刻に危惧される事態であり、これまで以上に住民に寄り添う積極的な健康影響調査が求められる。以下質問する。</p>	町長
			1. 健康影響調査、暫定結果報告について	<p>5 月 18 日、岡大・頼藤貴志教授から健康影響調査の暫定結果が地元住民に報告された。幾つかの疑義があり確認を求める。</p> <p>①資料では、飲水者 1019 人であるが、この飲水者数には常時飲んでいる人だけでなく、ほとんど飲んでいない人、また 1 度でも飲んだ人も含まれているのか。</p> <p>②精巣がんの母数は男性のみか。</p> <p>③乳がんは男性の発症もある。女性も男性も含まれているのか。</p>	
			2. 上記暫定報告のダイキン株主総会での引用について	<p>6 月 27 日開かれたダイキン工業(株)の株主総会で、株主の質問に対し会社幹部が「PFOA では明らかに関連する指標は認められないとの報告を一部報道を通じて知っている」と、頼藤教授の 5 月 18 日暫定報告を引用し、PFOA の健康影響はないかのごとく答えている。この事実は知っているか。そして、この引用をどのように受け止めているか。</p>	
			3. 上記暫定報告の評価と対応について	<p>上記暫定報告責任者の頼藤教授は、後日「円城浄水場 PFAS 問題有志の会」との面談で、暫定報告が都合よく引用されたことは「本意でなかった」旨述べたと聞いている。それは事実か。</p> <p>また町は、これに関連し「さらなる解析の継続や関連の評価、長期的な健康観察が必要と考えており、今回の報告は健康への影響はないと断定したものではない」とホームページで補足発表している。今後どのような対応を考えているのか。</p>	

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
(1)	(8)	山崎 誠 (一問一答)	4. 積極的な疫学調査の態勢構築を求める	<p>先にあげたようにアメリカ・オハイオ川周辺被害住民の PFOA 血中濃度の平均値は 83ng/mL、イタリア・ヴェネト州住民の PFOA 平均は 65ng/mL とされている。単純に比較はできないが、円城地区では発覚約 1 年後に行った第一次公費血液検査 709 人の PFOA 血中濃度の平均は 135.6ng/mL と、オハイオ川、ヴェネト州を上回る極めて高い値であり、PFOA 最大値の人は 718.8ng/mL である。これは今年 4 月に発覚した PFOA の製造に関わっていたダイキン工業(株)元労働者で間質性肺疾患 3 人の値と同等かそれ以上である。さらに 300~400ng/mL 未満が 59 人、400~500ng/mL 未満が 23 人、500ng/mL 以上が 8 人と深刻である。年を追って明らかになっている PFOA の健康影響について抜本的な対応が求められている。</p> <p>①血中濃度の 500ng/mL 以上の人には聞き取り調査を行ったと聞くが、何時、誰が、どのような内容で行い、どのような結果を得ているのか。</p> <p>②PFAS との因果関係は不明だが、当該地区では調査項目の腎臓がん、乳がん、精巣がん以外の直腸がんや心疾患の発症者が多いとの声を聞く。従来の疾患以外の調査項目も必要ではないか。</p> <p>③健康調査票、特定検診などこれまでのデータ解析だけでは健康影響の実態と全体を把握しきれないのではないか。調査票は大変分かりづらく、ちゃんと書けなかったとの声も聞く。「気になることがあったら相談に来てほしい」「症状があれば医療機関の受診を」のスタンスから、健康不安を抱える飲水者、血中濃度の高い人の訴えや生活環境など医師が直接聴き取り、集積、分析する積極的な疫学調査が必要であり、その態勢づくりを求める。</p>	
			カップリングパーティーについて	<p>平成 25 年度(2013 年度)から毎年カップリングパーティーが企画実行されている。近隣の高梁市、新見市との共同企画もあると聞くが、実績と企画内容について尋ねる。</p> <p>①イベントはこれまでに何回行われ、参加者の合計は何人か。</p> <p>②成婚は何組か。うち、町内居住は何組か。</p> <p>③企画内容はレクリエーション的なものがほとんどと思われるが、農業体験なども企画してはどうか。</p>	町長

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
2	6	河上真智子 (一問一答)	1. 慰霊碑の管理について	戦後 80 年を迎え、遺族会会員も高齢化し減少している。それに伴って町内各所にある慰霊碑の管理も大きな負担となっている。	町長
			①遺族会の現状について	会員数と活動内容、また後継者の確保はどのようになっているか。	
			②碑の現状について	年月を経た碑は、破損や倒壊の恐れがあるものや管理不全のものがあるのではないかと。状況は把握しているのか。	
			③今後の維持管理について	遺族会からの要望等はないのか。また、今後の管理の担い手はどうか。	
			④移転等の要望があった場合の対応について	碑の移転や撤去の要望があった場合、国の補助金（費用の半分）以外に助成を考えているか。	
			⑤歴史的価値について	碑は単に戦争遺跡ではなく、文化財として歴史的価値を次世代に継承し、平和学習の資料として生かさないか。	
		2. ACP について	ACP は「人生会議」とも呼ばれ、病気や認知症で自分の意思決定ができなくなる場合に備え、予め治療方法や過ごし方を家族や医療・介護従事者と話し合い共有するプロセスのこと。しかし、まだまだ認知度は低いのが現状である。	町長	
		①認知度の把握について	町民の ACP の認知度について、現状把握はできているのか。		
		②町民へのアプローチについて	町民の理解や普及を進めるためにどのような方法を考えているか。		
		③かかりつけ医について	ACP の取り組みにはかかりつけ医の存在が欠かせない。また、介護従事者を含む取り組みへの協力体制の整備が必要ではないか。		

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
(2)	(6)	河上真智子 (一問一答)	3. 子育て住宅整備について	住宅整備の中でも、子育て住宅の整備は今後の出生率にも直結する喫緊の課題である。	町長
			①子育て住宅建設計画について	「子どもあふれる化プロジェクト」の提言に対して町長は「すべてを実現するのは難しいが、決してあきらめてはいけない。10年、20年後につながる施策を実行していきたい」と述べた。また、建設課長からは「重要な施策の一つとして検討を行っている」との答弁があった。現在の進捗状況はどうか。	
			②今後の計画について	出生率の低下や児童数の減少を食い止めるためにも早期の建設実現が必要であるが、どのように検討を進めているのか。	
			③住宅の規模や立地の検討について	子育て世代が求める条件、適正な児童数のバランスなどの検討は行われているか。	
			④思い切った未来への投資について	若く収入の少ない世代には、住宅ローンの負担は大きい。定住促進策として、思い切った施策を打ち出してはどうか。	

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
3	11	黒田 員米 (一問一答)	1. PFAS 問題対策について	<p>1. PFAS 問題について、現時点において岡山県の取組みは鈍いように思うが以下を尋ねる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 県は現在、県内各自治体で発生している PFAS 問題についてどのような対応を行っているのか。 ● 町は県に対して PFAS 問題解決にあたって支援要請を積極的に行っているのか。 ● 町は全国の PFAS 問題を抱える自治体との情報交換を行う機会は有るのか。 	町長
			2. 県管理の河平ダムについて	<p>県管理の河平ダムは、現在「汚染を受ける受け皿」となっており県が「被害者」と「管理責任者」の両面を持つ立場である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 県は河平ダムの水質について常時監視を行っているのか。 ● 県は下流の水利用者への安全対策を実施しているのか。 ● 汚染原因の活性炭があった土壌から汚染物質である PFAS が現在もダムに流れ込んでいるが、県は土壌撤去、素掘り水路の土砂撤去など、汚染水流入の遮断・拡散防止対策は行わないのか。町として積極的に対策するよう申し入れるべきではないか。 ● 少なくとも汚染原因の土地直下の水路に調整池を設け、除染用活性炭などを設置してダムへの PFAS 流入を軽減すべきではないか。 	
			統合小学校・放課後児童クラブについて	<p>今回、小学校、放課後児童クラブが統合して半年がたった。また、夏休みの長期休暇を初めて経験した。</p> <p>1. 統合した3校の小学校について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現時点においてどのような課題が発生してどのような対応をおこなったのか。また、課題解決に至っていない事案はどのようなものが有るのか。 ● スクールバスの運行について、運行時間・運行ルート・車両・乗降場所などそれぞれ問題はないのか。 	教育長

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
(3)	(11)	黒田 員米 (一問一答)		<p>●加賀東小学校はスクールバスが路線バスのため、定期券を購入しているが、7月定期は末日までの期間で購入しているが、現実に路線バスの運行は7月20日までだったが問題はないのか。</p> <p>2. 統合した3カ所の放課後児童クラブについて</p> <p>●現時点においてどのような課題が発生してどのような対応をおこなったのか。また、現時点においても課題解決に至っていない事案はどのようなものが有るのか。</p> <p>●今回、初めての夏休み期間中において、行政の指導で朝一番のメニューとして学習時間を割当て、その後気温が上がってきた段階で遊びの時間を組んだが課題は発生しなかったか。</p> <p>●夏休み期間中に行政は各放課後児童クラブの状況を目視で確認をおこなったのか。また、4月以降どの程度の頻度で実際に放課後児童クラブの状況を目視で確認したのか。</p> <p>●放課後児童クラブの中には夏休み期間中にプール開放日にスクールバスが利用できそのままクラブに参加でき保護者も大変喜んでいたが、放課後児童クラブへの送迎についてもスクールバスの利用は考えられないのか。</p> <p>●開所日、開所時間については、利用者が0人の場合、地域の実情も加味されるのか。</p> <p>●放課後児童クラブ指導員の人員配置について、国の参酌基準を基に定められた町の配置基準について見直しが必要ではないか。</p>	
			教育・保育給付認定について	<p>1. 町内の公立私立こども園等に入園するにあたり必要な、町が許認可を行う、保育の必要性（教育・保育給付認定）の現状を尋ねる。</p> <p>●町内のこども園に入園希望を持った場合「教育・保育給付認定」が必須と思われるが、現在の町の認定作業は利用者の希望に対して寄り添った対応ができていますか。</p>	町長

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
(3)	(11)	黒田 員米 (一問一答)		<ul style="list-style-type: none"> ●「教育・保育給付認定」については、最終的には町長名での通達となると思われるが、その基準となる調査・一次判断は誰がどのような基準を基におこなうのか。 ●町の「保育の必要性の認定」は1～8までの条件があるが、中でも、疾病、介護、求職活動など、本人、家族など個人から聞き取らないと分からないような条件については、どこまで行政が踏み込んで確認をするのか。 ●「保育の必要性の認定」については4月入園の場合、中途入園の場合は、それぞれどの程度の期間が必要なのか。 ●令和6年度までは「教育・保育給付認定」の申請時期について柔軟に対応していたが、令和7年度より厳しくなったが、その理由はどのようなものか。 ●「保育の必要性の認定」の申請書提出は担当課に対して「2か月前から」なのか「2か月前までに」なのか。 	
			閉校小学校の備品処分について	<p>1. 閉校小学校の備品処分について</p> <ul style="list-style-type: none"> ●今回の処分方法は、どのような規定を根拠に行われたのか。 ●各所にメールした文章表現において「備品を確認できる日時及び施設の表示、さらに、当日先着順で持ち帰っていただいて構いません」これらの文章はどこ部署が作成し、どこの施設に対して送付したのか。 ●処分する備品の備品台帳は管理されているのか（購入時期・購入金額など）。逆に備品台帳から削除されているのか。 ●過去に、閉校中学校の備品処分については今回と同様の処分方法だったのか。違う場合にはその理由は。 ●各所に対して備品台帳のデータを希望者のみとした理由は。 ●今回の処分備品の中で最新購入備品、最高価格備品は。主なものを示されたい。 ●今回、処分備品を先着順で払い下げをおこなった理由は。 	町長

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
(3)	(11)	黒田 員米 (一問一答)		<ul style="list-style-type: none"> ●処分備品が確認できる日時（払い下げ実施日）の選定は、なぜ夏休み期間中に行ったのか。また、当日は9時00分から2施設、13時30分から3施設を同時に行った理由は。 ●各施設が持ち帰った処分備品名称・個数については、担当課において把握できるようになっているのか。 ●今回の備品処分の方法についてはこのまま有効なのか。 ●今後は、どこに対して順次払い下げを行う予定なのか。 ●フリマアプリと呼ばれるネットオークションなどへ試験的に出品する考えはないのか。 	
				<p>2. 閉校小学校に対する配慮について</p> <ul style="list-style-type: none"> ●今回の備品処分において、一部の閉校小学校内へは土足での入室が許可されたと聞く。閉校になった校舎と言えども本年3月までは学校関係者や児童、そして地域住民が愛着をもって管理をしていた校舎に対して土足での入室は、その心を文字通り踏みにじるものではなかったのか。 	

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
4	2	渡邊 順子 (一問一答)	廃校後の物品の 管理取り扱いに ついて	<p>廃校になった小学校にはたくさんの物品が残っていると 思われる。この残されている物品について、どのように 管理され取り扱われるのかを尋ねる。</p> <p>①現在の状況は、どのようになっているのかを尋ねる。先 日、備品の引き取りが行われたようだが、まず町の各関 係機関と聞いている。それは各課と他にはどこがいたの だろうか。また、そのやりかたが早い者勝ちというよう なもので、少し丁寧さに欠けていたように思える。この 点については何も問題はなかったのだろうか。また、受 け取った備品についての把握と管理はどのようにされ るのかを尋ねる。</p> <p>②まだ備品は残っているとは思いますが、次にどこが引き取り 出来るのか予定とか決まっているのかを尋ねる。そして 自治会や地域への声掛けはあるのか、あればいつ頃にな るのだろうか。</p> <p>③すべての引き取り作業が終わり、最終的に残った物品の 取り扱いや処分について、どうされるのかを尋ねる。</p>	町長

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
5	7	平澤 一浩 (一問一答)	防災について		町長
			砂防ダムについて	町内に設置されている砂防堰堤の設置、ならび維持管理において、県と町の連携、体制について問う。	
			RS ウイルス対策 ワクチンについて		町長
			基本的な認識と 現状について	<ol style="list-style-type: none"> 1. 町における RS ウイルスの感染状況と重症化リスクに対する認識について問う。 2. 国の定期接種化の動向や、近隣自治体の中でも先行している自治体の状況を踏まえ、町としての対応方針を問う。 3. ワクチン接種への経済的支援について 町として、ワクチン接種費用の助成制度導入について検討する考えはあるか問う。 	
			通学路の草刈の 時期について	徒歩、自転車通学をしている方々が、危険にならないために、1学期中においても草刈等の整備をしていただくことは可能か。	町長

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
6	3	我妻 瑛子 (一問一答)	投票率向上のための取り組みについて		町長
			1) 投票率について	7月20日の参議院選挙、選挙区では吉備中央町の投票率は55.93%。岡山県の投票率54.18%は超えているものの、県内町村においては最低となっている。町村投票率の平均は60.46%。 町における投票状況をどのように捉えているか。また、低投票率の理由をどう考えているか。	
			2) 投票所数	投票所数の推移はどのようになっているか。賀陽町、加茂川町時代の40年前、合併時の20年前からの変化は。	
			3) 移動支援、移動投票所	国は、巡回バスやタクシー券配布など投票所までの移動手段を提供する自治体の「移動支援」事業を全額補助している。また、移動投票所についても、移動期日前投票所は国政選挙では経費を全額国庫負担されることになっている。移動支援や移動投票所を検討してはどうか。	
			PFAS 汚染対策について		町長
			1) 血液の排出	排出されにくく、体内に長く留まることが有害とされており、献血以外の方法で排出させ、濃度を下げたいという声がある。方法の研究をしてはどうか。	
			2) 血中濃度検査の頻度と期間	2回目の血液検査の実施時期が検討されている。 8月28日の連絡協議会では「2回は確約されているが、その後は不確定で、2回しかしないことも有り得る」という見解が町長より示された。 「5年後にではなく3年後に」という要望の意図は、「3年間隔で繰り返す」ことを前提にしているものである。 血中濃度検査には2つの意味があり、1つは、濃度の低下を確認すること、自身の体の状態の確認。2つめは、健康指標と濃度の変化をセットで追うという疫学調査としての位置づけである。	

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
(6)	(3)	我妻 瑛子 (一問一答)		2回目が、始まったばかりの2回なのか、終わりの2回なのか、わからない状況で設定するというは無理がある。次回血中濃度検査の時期の検討は、頻度と期間を合わせて設定すべきではないか。	
			デジタル田園都市推進事業 医療分野について		町長
			1) 救急搬送時の情報提供	<p>きびアプリとマイナンバーカードで発行する共通診察券の普及が取り組まれている。救急搬送時に、救急隊がこの共通診察券を読み取ることで、救急隊や搬送先医療機関へ健康・医療情報が共有されることで最適な病院選定や迅速な救急治療に繋がれるというものである。</p> <p>これとは別に、情報提供のツールとしてはマイナ救急があり、救急隊がマイナ保険証を読み取ることで、通院履歴や服薬情報などをタブレット端末で閲覧し、共通診察券と同様に搬送先の選定や迅速な治療に繋がれるというものである。</p> <p>県内では実証事業が岡山市で本年度4月からおこなわれているが、10月からは全国すべての救急隊が実証をおこなうことになっている。</p> <p>先日の委員会でのご説明では、救急搬送の際どちらが利用されるのか定まっていないということだったが、全国展開されるにあたり、方針の説明を求める。</p>	
			2) 全国医療情報プラットフォームとの整合性について	<p>全国医療情報プラットフォームは、医療機関、介護施設、自治体でバラバラに保存・管理されている患者の医療関連情報を一つに集約して閲覧共有・管理するためのシステムで、2022年5月に政府より発表された「医療DXビジョン2030」における取組の一つである。</p> <p>現在の医療現場では患者が複数の病院を受診する際、同じ問診や検査を何回もおこない、病歴や服薬状況など患者から口頭で聞くことが多く正確な情報を把握できない状況であるが、こういった情報共有の課題やデジタル化の遅れに対応するものとされている。</p> <p>デジ田事業における、共通診察券、母子健康手帳、予防歯科クラウドサービスが乗っているデータ連携基盤とこの</p>	

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
(6)	(3)	我妻 瑛子 (一問一答)		全国医療情報プラットフォームとの整合性かどうか。	
			ふるさと納税について	JA 晴れの国岡山は 2025 年度産コシヒカリ 60 キロの概算金を 3 万円に引き上げると報道された。 指定取り消し前に受け付けていた令和 7 年度分と令和 6 年度未発送分の返礼米を 24000 円で買い取る契約が町と農家の間でおこなわれている。 返礼米の買取り価格が概算金を大幅に下回る状況となっている、今後の対応は。	町長

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
7	1	日名 由香 (一問一答)	小学校跡地利用 について	3月末に閉校した小学校跡地の利活用について、次の3点を伺う。	町長
			1. 各小学校の跡地利活用の状況 について	閉校した各小学校(津賀・御北・上竹荘・下竹荘・大和・吉川)の跡地活用について、現在どの段階にあるのか(地域で利活用の検討中、公募の検討など)を伺う。	
			2. 津賀小学校、下竹荘小学校の跡地利活用の進捗状況 について	①今年度設計の予算が計上されている加茂川庁舎の移転先となる旧津賀小学校、および教育委員会の移転先とされている旧下竹荘小学校について、それぞれ現時点での進捗状況はどうか。 ②移転先に入居する予定の津賀公民館やかもがわ図書館について、利用者や関係者の「使い勝手」や「優先したい事柄」といった意見を、現在行っている設計段階でどのように反映していくのか。	
			3. 今後のスケジュール について	来年度以降の整備・移転に至るまでのスケジュールについて。	
			防災関連について	9月は防災月間であり、今月の広報でも防災特集が取り上げられている。災害への備えは町民の安心・安全な暮らしにつながる大切な取組である。そこで本町の防災について、現状と今後の方針を伺う。	町長
			備蓄について		
			備蓄の基本方針と現状 について	本町の災害用物資・機材の備蓄方針、想定人数(対象人口・想定避難者)に対する充足率、配置(集中/分散)の現状を伺う。	
備蓄状況の公表 方針について	令和7年の災害対策基本法改正により、自治体には年1回以上の備蓄状況公表が義務付けられた。これを踏まえ、住民の自助・共助を促すために、備蓄品目・数量・有効期限・配置場所に加え、アレルギー対応や乳幼児・要配慮者向け物資についても一覧で公表する方針を、時期や更新頻度とあわせて示されたい。				

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
(7)	(1)	日名 由香 (一問一答)	不足分の解消計画	国の最新調査（令和6年11月1日時点の全国備蓄状況）や指針を踏まえ不足している物資をどのように整備していくのか。	
			自主防災組織の活動補償について	<p>中山間地域においては、災害時に行政の支援がすぐに届かない場合も多く、地域の自主防災組織が住民の命と生活を守る大きな支えとなっている。その役割は極めて重要である。そこで次の点を伺う。</p> <p>①本町の自主防災組織構成員に対する活動補償（災害時・訓練時）の現状を示されたい。</p> <p>②令和7年の災害対策基本法改正により「被災者援護協力団体制度」が新設され、NPO等と連携した活動支援や補償の枠組みが示された。これを踏まえ、町として自主防災組織の保険制度を拡充する考えはないか。</p> <p>③他市の事例（岡山市：市負担による包括保険加入、倉敷市：訓練計画届出による補償適用）を参考に、最適な導入形態（災害時と訓練時双方への対応、町負担の有無など）の検討をお願いしたい。</p>	
			防災教育の推進について	<p>本町は「首都岡山」と呼ばれ、地盤が強く安心できる地域とされている。しかし、その安心に甘んじて備えを怠れば、いざという時に命は守れない。特に高校進学を機に町を離れる子どもたちは、より災害リスクの高い地域で過ごすことになる。だからこそ、小中学校の段階から防災教育を充実させ、「釜石の奇跡」に学ぶように自ら命を守る力を身につけておくことが大切ではないかと考える。</p> <p>そこで2点伺う。</p>	
		防災教育について	<p>① 町として、学校や地域での防災教育をどのように位置づけているか。</p> <p>② 子どもたちが町内外どこにいても自ら命を守れるようにするため、実践につながる防災教育を推進する考えはないか。</p>		

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
8	4	高森 学 (一 括)	土砂災害等における孤立の可能性のある集落について	<p>令和6年度に岡山県が調査した「中山間地等の集落散財地域における孤立集落発生の可能性に関する状況調査」において、吉備中央町では109の集落のうち、土砂災害等により孤立する可能性のある集落が31集落、割合として28.4%の調査結果があった。</p> <p>①この調査結果を町はどのように捉え、該当集落への周知は行っているのか。</p> <p>②該当の31集落の公表は可能か。</p> <p>③土砂災害等が発生し孤立した場合を想定した防災訓練の実施は考えているか。</p> <p>④平成30年の土砂災害時における反省点を踏まえ、避難所の運営・ライフラインの確保等改善した点はあるか。</p>	町長
			防災庁の誘致について	<p>令和7年6月25日の県知事の定例記者会見で防災庁の誘致について、県中部の吉備高原との言葉があった。</p> <p>このことについて、町長の考えを問う。</p>	町長
			吉備中央町愛歌について	<p>地元の方が作詞され約4年前に発表された「吉備中央町愛歌」をご当地ソングとしてPRしてみてもどうか。</p>	町長